

【講師割引申込用紙】

この申し込み用紙は切り離さず、そのままお送り下さい。FAX：03-5740-8766
 弊社HP (<http://www.johokiko.co.jp>)よりお申し込み頂く場合は
 備考欄に 講師割引番号「H-905」を記載して下さい。



<講師割引適用について>

- ・割引額はそれぞれの下記料金より、1名ご参加の場合 ¥10,800円引き、2名以上参加の場合 通常の同時申込割引から更に1名につき¥2,160円引きとなります。
- ・割引の適用条件としては、本申込用紙にてfax申し込みされた方、弊社HPにて講師割引番号を記載の上、お申し込みを頂いた方に限らせていただきます。
- また場合によっては講師にご確認を取らせていただく場合がございますので、その点ご了承下さい。
- ・その他割引との併用はできません。

★好評再開催！稼働中の陸上養殖施設を見学！

閉鎖循環式『陸上養殖』の最前線 ~ 現状と動向、導入事例、コスト評価、採算性、事業化戦略 ~ 見学付きセミナー【定員20名】

第1講 (株)FRDジャパン 代表取締役副社長
 玉川大学 農学部 非常勤講師

日時 2015年6月25日木曜日 10:30-16:30

会場 [埼玉・大宮]大宮ソニックシティビル 9階 901

理学博士 小泉 嘉一 先生

受講料 1名46,440円(税込(消費税8%)、資料・昼食付)

第2講 (株)FRDジャパン 代表取締役社長

辻 洋一 先生

*1社2名以上同時申込の場合、1名につき35,640円

第1講 「陸上養殖事業成功への道」 (10:30-12:00予定)

1. どうして事業化が困難な陸上養殖が求められているのか？
 - 1.1. ひっ迫する世界の食料事情と日本の悲しい水産事情
 - 1.2. 救世主となるか！完全閉鎖循環式陸上養殖(CRAS)
 - ~水産業も多様性が大事~
 - 1.3. CRASのメリットと壁 ~海面養殖と陸上養殖の比較~
 - 1.4. ついに農水省(国)が陸上養殖事業を予算化
2. 陸上養殖の経緯と現状
 - 2.1. 陸上養殖の歴史
 - 2.2. 事業化に向けて大いに参考になる植物工場
 - 2.3. 陸上養殖事業の現状
 - ~なかなか事業化に成功しない理由は？~
 - 2.4. 国、研究機関、民間企業の最新動向
3. 陸上養殖における総合水産水処理
 - 3.1. 自然の海とCRASにおける物質循環
 - 3.2. 高速完全硝化技術と導入事例 ~バイオフィルムがカギ~
 - 3.3. 全自動脱室技術と導入事例 ~生分解性ポリマーがカギ~
 - 3.4. 有機物処理技術と導入事例 ~海水電気分解塩素がカギ~
 - 3.5. 水産水質分析と導入事例 ~イオンバランスがカギ~
4. われわれが提案する陸上養殖事業からスマート・アグリ コミュニティーまで
 - 4.1. 儲かる！？陸上養殖事業のスキーム
 - 4.2. 陸上養殖の事業化に向けた試算
 - ~どこにお金がかかるのか？~
 - 4.3. 先進国としての新しい食料生産方法を提案
 - ~夢のスマート・アグリ コミュニティー構想~
5. 世界初！？アワビの無換水陸上養殖試験レポート
 - 5.1. 二年間の無換水飼育試験(1トン水槽)から分かったこと
 - 5.2. 半年間の大規模高密度飼育試験から分かったこと
 - 5.3. 作ったアワビが売れなければ事業にならない
 - ~マーケットインの販売戦略~

※詳細はWEBにて！
 検索ワード→「情報機構 AC150686」

第2講 「陸上養殖ビジネスを採算ベースに乗せるための要素 ~水処理コストの評価及び施設建設・運営コストの分析~」 (12:45-14:15予定)

1. 閉鎖循環設備に欠かせない水処理導入のコストメリット

海から離れた内陸部で海産物の養殖を行う場合、海水の調達は大きな問題となる。天然、人工いずれの海水も調達には多額の費用が発生し、水質維持のための換水コストは陸上養殖ビジネスの採算性を大きく損なう。しかしながら、水質を無視すれば養殖行為そのものが成り立たず、陸上養殖においては良好な水質を維持することこそが事業成功のカギになると言っても過言ではない。第1講で具体的手法が解説される水処理を導入することで、「水」に関わるコストを如何に低レベルに抑えることができるかを従来の換水方式とコスト比較し、具体的なシミュレーションに基づいて解説する。
2. 陸上養殖工場の建設・運営コスト

水の問題が排除できても陸上養殖は採算性のあるビジネスといえるのか？小割式の海面養殖と比較するとコスト高になると言われる陸上養殖のコストはどれくらいかかるのかを詳細に試算する。断熱を最重要視し、養殖に最適な水温を低エネルギーコストで維持するための建屋建設コンセプトに基づく初期投資費用、施設を運営・維持するためのコストを詳細に分析し、陸上養殖ビジネスが採算性のある事業であることを解説する。
3. 高密度飼育と省力化を徹底した陸上養殖システム

ここではアワビの生産システムを中心に高密度飼育を可能とし、管理人員も最小限に抑えることのできる陸上養殖のシステムを解説する。高密度飼育を可能とする飼育設備の構造、建屋内の水槽配置等。
4. 生産高と販売単価に応じた損益分岐点と事業規模の関係

全ての海産物が海面養殖から陸上養殖に取って代わるものではないのは生産コストと生産種に応じた単価の関係からも明らかである。そこで、テーマ2で試算したコストに対してどれくらいの生産高(kg)と単価で販売すれば採算ベースに乗るのかを考察する。
5. 陸上養殖とのマッチング事業

単独事業でも十分な採算性を示したうえで、更に陸上養殖を起業するにあたって有利なマッチング事業について解説する。施設稼働に欠かせないエネルギー源を得るためのマッチング事例を紹介する。

【見学の部】 講義終了後に車で移動します。
 見学施設：大洋水研 陸上養殖施設【施設内の撮影禁止】(見学の所要時間 60-90分)
 閉鎖循環陸上養殖システム！
 稼働中の施設はアワビの養殖ですが、システム自体は基本的に様々な魚種に対応。
 採苗、種苗、飼育等の実際！
 設備、システムを見ながらQ&A！

講師割引申込

本講座料金より ¥10,800 引き
 2名以上参加 更に ¥2,160 引き

セミナー名	閉鎖循環式『陸上養殖』の最前線			開催日	6月25日
会社名		住所	〒		
所属・役職		TEL		FAX	
受講者	e-mail	上司氏名	e-mail		
今後ご希望の案内方法にレ印を記入下さい(複数回答可)					
		e-mail	FAX	郵送	不要

<申込要領>

1. 申込を確認次第、弊社より受講券、請求書、会場地図等をお送り致します。
2. 受講料のお支払いは、原則として開催日までにお願致します。後日になる場合は予定日をご明記ください。また、当日会場でのお支払いも可能です。
3. 申込後、ご都合により講習会に出席できなくなりました場合は、代理の方の出席をお願い致します。止むを得ず欠席される場合、弊社事務局迄ご連絡下さい(受付時間9:00-17:00)。
 以下の規定に基づき料金を申し受けます。
 開催日から逆算(土日・祝祭日を除く)して、
 ・講座3日前~4日前での欠席のご連絡:受講料の70%
 ・講座当日~2日前での欠席のご連絡:受講料の100%
4. 原則として銀行振込の場合、領収証の発行はいたしません。振込手数料はご負担下さい。
5. 最小催行人数に満たない場合等、事情により中止になる場合がございますご了承下さい。

ご連絡頂いた、個人情報は弊社商品の受付・運用・商品発送・アフターサービスのため利用致します。今後のご案内希望の方には、その目的でも使用致します。今後のサービス向上のため個人情報の取扱に関する契約を締結した外部委託先へ、個人情報を委託する場合があります。個人情報に関するお問合せ先 policy@johokiko.co.jp